

障害福祉

レスポーンいなぎ 発達支援講座

境界知能は、知的障害ではないが、情報処理や理解に時間がかかる傾向にある状態のことです。見た目では判断されにくく、日常生活の中で戸惑いや苦しさにつながることもあります。境界知能への理解と関わり方について、事例を交えてお話しします。

9月18日(金)

午前10時～11時30分

地域振興プラザ4階会議室

申込フォーム(下記参照)、電話、メール、ファクス



先問 レスポーンいなぎ平尾 331・8794、331・8795、resupo-inagi@inagi-masayume.com

心身障害者医療費 助成制度(マル障)

東京都では、保険適用医療費について自己負担額の一部を助成しています。
身体障害者手帳1・2級(内部障害は1・3級)、愛の手帳1・2度、精神障害者保健福祉手帳1級をお持ちの方 ※所得や年齢による制限のある年が異なります。過去に所得制限により非該当となった方で、所得が減額した場合とはご相談ください。

現在、受給者証をお持ちの方には、所得審査の結果によって、新しい受給者証または非該当通知を8月末までに送付します。

受給者証を更新します

障害福祉課障害福祉係



悪天候時のごみ回収

台風や強風等の悪天候により、資源回収ステーションに設置したカゴが飛散する恐れがある時は、回収を中止する場合があります。その際は、次の回収日まで自宅保管してください。

回収を実施する場合でも飛散等を防ぐため、当日の朝に出してください。回収に変更がある場合は、市等でお知らせします。

9月1日(火)から開会 令和8年 第3回定例会

議会の傍聴を希望する方は、当日、議会事務局で手続きしてください。

※請願・陳情は、8月24日(月)午後5時までに持参してください。

本会議と会期中の委員会をインターネットで中継

市「稲城市議会」から生中継及び録画で視聴できます。

議会事務局議事係



▲資源回収ステーション

活動団体を募集中 資源ごみ集団回収

自主的に資源物を集め、回収業者へ引き渡す活動団体を募集しています。

集団回収には地域のコミュニケーションを深められる、回収量に応じた補助金が支払われる等、メリットがあります。補助額・対象品目は、お問い合わせください。

市内の自治会・管理組合・子ども会等20世帯以上の団体 生活環境課ごみ・リサイクル係

ご協力ください 資源物の分別

古紙・古布は資源回収日に、発泡スチロール・トレイは、細かく砕いて袋に入れ、公共施設やスーパー等にある回収ボックスへ出してください。

資源物を捨てる際の注意点

古紙は雨の日でも回収しますが、古布は雨に濡れると資源物として再利用ができなくなるため、できるだけ次の回収日に出してください。

卵のパック、弁当・カップラーメン、納豆等の容器、洗っても汚れる落ちない物、ペンキを塗った物、ウレタンマット・緩衝材等は回収ボックスに入れないでください。

市内全地区で開催 市長と語ろう タウンミーティング

稲城の魅力あるまちづくり等について、市民の皆さんと市長が語り合う「タウンミーティング」を各地区で行います。事前申し込みは不要です。直接ご来場ください。

秘書広報課広報広聴係

タウンミーティング日程

地区	期日	時間	会場
向陽台	9月13日(日)	午前10時～	城山文化センター中会議室
大丸	9月25日(金)	午後7時～	大丸地区会館
押立	9月27日(日)	午前10時～	押立ふれあい会館
平尾	10月17日(土)	午前10時～	平尾自治会館
百村	10月28日(水)	午後7時～	百村コミュニティ防災センター
矢野口	11月17日(火)	午後7時～	矢野口自治会館
若葉台	12月12日(土)	午前10時～	iプラザ大会議室
東長沼	令和9年1月16日(土)	午後6時～	東長沼自治会館
坂浜	令和9年1月23日(土)	午後7時～	坂浜コミュニティ防災センター
長峰			調整中(決定次第、市等でお知らせします。)

市長コラム

No.174

フィリピン・ コルドバ町を訪問

6月2日～4日の日程でフィリピン共和国セブ州コルドバ町を訪問しました。稲城市では子どもたちの英語力向上と国際化推進のため各種施策を展開しており、昨年1月にはオンライン調印式によりコルドバ町と教育交流協定を締結し、同年4月からフィリピン人の外国語指導助手(ALT)を直接雇用しており、そのうち4人がコルドバ町出身者となっています。

今回私は私・杉本教育長・担当課長・担当職員の合計4人がアチーブゴール社の案内によりコルドバ町を公式訪問しました。その主な目的としては、①スアン町長をはじめとする行政関係者と意見交換し、教育交流の基盤を確認・強化すること、②ALTを養成して日本に紹介しているアチーブゴール社が韓国のSME社と合同で設立している全寮制英語学校を視察し、稲城市に配置するフィリピン人ALTの指導力・研修体制を確認すること、③稲城市の小中学生の英語力を更に向上させるため、ALTの増員や英語学校の活用の可能性について検討するうえに必要な現地把握をするこの三点です。

コルドバ町役場ではスアン町長はこれらのプレゼントに感激され、我々を昼食会に招いてくれたうえ、ご自宅までご招待くださいました。スアン氏は一代で財をなした実業家であり、その事業活動の成果を自慢されておられましたが、その経営手腕を行政運営にも遺憾なく発揮されていることが確認できました。

町役場訪問の次に、コルドバ町立のGABIエレメンタリースクールとその隣にあるコルドバ・パブリック・カレッジを訪問し、教育環境や施設整備の状況について説明を受けました。小学校では国語と歴史以外の授業は全て英語で行われているとのことでした。カレッジでは、学生が主体となって企画運営する実践型プログラムとして催すブライダルパーティーを見学しました。ステージの装飾、衣装、披露宴に供する料理の調理、式の司会進行等全てを協力して準備している学生たちがとても楽しそうでした。ちなみにこのプログラムは、経済的な理由で式を挙げられない町民カップルに実際の結婚披露宴を提供するものだとして感動しました。

全寮制英語学校では、教室・寮・食堂・屋外運動施設・イベントスペース等の施設全体を見学し、我々4人がそれぞれ個人レッスンの模擬授業を体験し修了証をいただきました。1週間を1クールとした滞在型24時間英語漬けの環境は、短期間の英語能力向上に役立ち、欧米への留学と比較して費用面での優位性もあり、活用の可能性について今後検討したいと思っています。

コルドバ町との協定締結は事情によりオンライン調印となったため、かねてから訪問の機会を調整しておりました。今回はスケジュールの関係で2泊3日の強行軍となりましたが、町長との懇親も深められ目的はおおむね達成できたと思っています。



▲GABIエレメンタリースクールにて



稲城市長
高橋 勝浩